

令和 5 年 3 月 29 日

厚生労働省  
医政局長 榎本 健太郎 殿

公益社団法人 日本看護協会  
会 長 福井 トシ子



一般社団法人 日本看護学校協議会  
会 長 水方 智



## 看護教員の確保と質の向上に向けた取組みに関する要望書

わが国では少子超高齢化の進行、それに伴う患者像の複雑化に対応するため、地域包括ケアシステムの推進が急がれています。人々の療養の場が、医療機関から地域のあらゆる場に広がる中、切れ目のないケアを提供し、安心して安全な生活を支えるため、看護職に求められる役割や活躍の場がこれまで以上に拡大しています。将来を担う看護師が社会に求められるニーズに対応するため、臨床推論能力や看護実践能力を向上できるよう、これまで以上に充実した看護師基礎教育の展開が求められます。

「看護基礎教育検討会報告書」(厚生労働省 2019)においては、教育内容の充実に伴い、看護教員(以下、教員)の教育実践能力の向上や養成所の教員の負担軽減を図ることが重要であるとされたところであり、将来看護師となる学生への教育の質担保には教員の質向上と負担軽減は欠かせません。日本看護協会は、2018年「看護師養成所の教員の勤務実態等に関する会員調査」(以下、会員調査)を実施し、養成所に勤務する教員の負担が、教員の人材不足に関係している実態を明らかにしています。

つきましては、看護教員の確保と質の向上について、下記事項にご尽力を賜りますようお願いいたします。

### 要 望 事 項

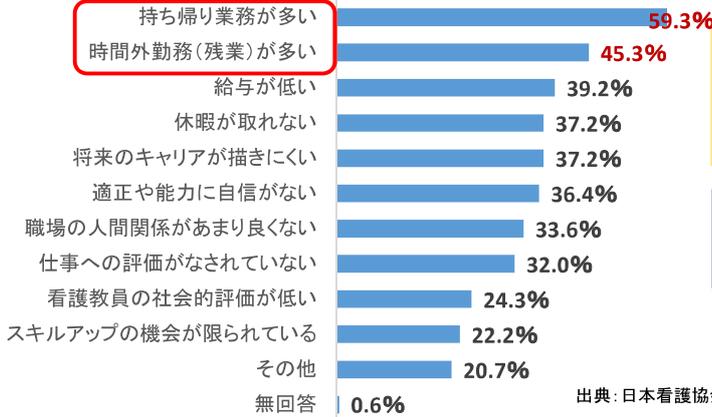
- 看護師等養成所の看護教員の確保と配置の充実に向け、看護教員の確保に関する課題を整理した上で、実効性のある確保策を検討されたい。
- 看護師等養成所の看護教員の継続的な知識・技術等の向上を図るため、継続教育を推進する仕組みを構築されたい。

# 看護教員の現状と課題

## ●看護教員としての就業継続意向 (n=1,663)



## ●看護教員として就業継続が困難な理由 (n=847)

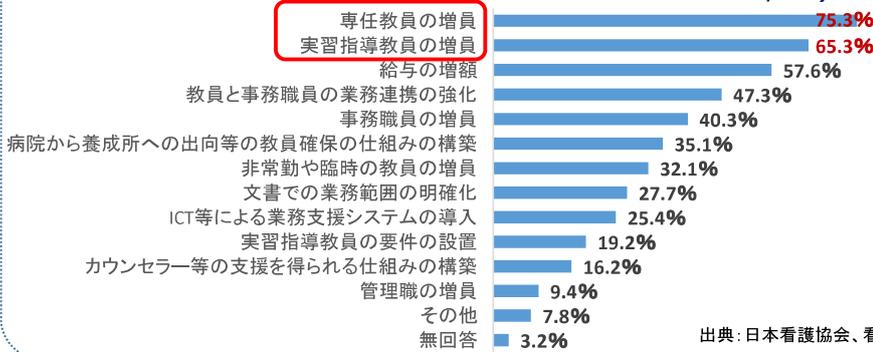


現所属で就業を継続したいと思わない理由  
**「持ち帰り業務が多い」 (59.3%)**  
**「時間外勤務が多い」 (45.3%)**

看護教員の業務負担の大きさが  
 明らかになっており、負担軽減が急務

出典：日本看護協会、看護師養成所の教員の勤務実態に関する会員調査結果、2018年

## ●看護教員の負担軽減に向けて必要だと思う取組み (n=1,663)



看護教員の負担軽減に向けて  
 必要だと思う取組み  
**「専任教員の増員」 (75.3%)**  
**「実習指導教員の増員」 (65.3%)**

看護教員の負担軽減に向け  
 教員確保と配置の充実が必要

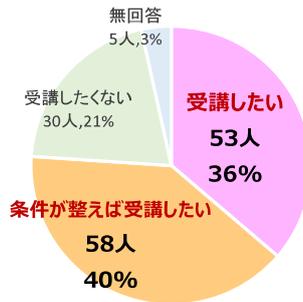
出典：日本看護協会、看護師養成所の教員の勤務実態に関する会員調査結果、2018年

# 看護教員の現状と課題

## ●看護教育に関する研修等の受講状況 (n=1,663)

	件数	割合
看護教員養成講習会を修了	1180	71.0%
大学または大学院で教育に関する科目を履修	225	13.5%
看護教員養成講習会と同等の教育・研修を修了	84	5.1%
<b>いずれも該当せず</b>	<b>146</b>	<b>8.8%</b>
無回答	28	1.7%
計	1663	100%

## ●看護教員養成講習会の受講希望 (n=146)



教員養成講習会等の研修未受講の者  
**「受講したい」「条件が整えば受講したい」が76%**

出典：日本看護協会、看護師養成所の教員の勤務実態に関する会員調査結果、2018年

## ●専任教員養成講習会への受講希望者が受講できない理由 (n=53)



## ●令和4年度 専任教員養成講習会

・14都道府県で実施

→年度内に近隣県を含め開催のない地区がある等、開催県に偏りがある。

教員養成講習会の受講機会の拡大を検討する必要がある

出典：令和4年度専任教員養成講習会・教務主任養成講習会 開催予定一覧、厚生労働省

出典：日本看護協会、看護師養成所の教員の勤務実態に関する会員調査結果、2018年